

がんばりました 4年生

1月28日(木)、4年2組において、今年度最後の研究授業を行いました。今年度、赤崎小学校では、教科を国語に絞り授業研修に取り組んできました。研修主題を「自分の思いや考えを伝え合い、学びを広げ深め合う子どもの育成～協働的な活動や対話を通して、学びを確かにする国語科学習の創造～」とし、学習過程の中に話し合い活動(対話)を取り入れた位置づけることにより、自分の考えの根拠を明確にしたり、新たな見方や考え方を得たりすることで、国語の学力向上の達成を図ってきました。

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から全校的な研究授業はあまり行ってこなかったのですが、今回、今年度最後の研究授業として、全校の代表授業を4年2組において実施しました。この授業の実施に当たっては、まず、事前に全職員により授業の計画について検討する時間を設けました。そして、それまでに各学級において研究主題に向けた実践で蓄積してきた経験をもとにアイデアを出し合い、より効果的な指導方法を検討しました。次に、同学年である4年1組において、事前に同じ内容の授業を行い、それに対して他の職員が意見を出し合うことで、さらに効果的な指導方について検討し、見直しを行いました。

そして、1月28日、6時間目。いよいよ本番です。通常、6時間目になると疲れが出てきて、集中力が持続しにくくなるのが懸念されるのですが、授業が始まる前から、モニターに映し出されたフラッシュカード形式の漢字学習に取り組みながら、授業開始の時刻を待っている様子は高い意欲が感じられていました。

そして、授業が開始されました。学習内容は「ウナギのなぞを追って」という、ウナギの一生の調査についての説明文を中心となる文や語句を見つけて要約する学習です。難しい学習内容ではありましたが、子どもたちは集中を切らすことなく、最後まで意欲的によく頑張っていました。

当日は、佐世保市教育委員会からも来校していただき、子どもたちが下校した後おこなった授業研究会で、次の様な指導助言をいただきました。「6校時目にもかかわらず、子どもたちは意欲をもって取り組んでいた。家族に伝えるという目的意識をしっかりともたせて取り組ませていた。身につけさせたい力について、授業者は山田先生だが、全職員がその方法を検討することで視点がすっきりとし、より明確化したものになっていた。」と。

もちろん、まだ課題もありますが、なにより教師と子どもたちが、がんばっていることが伝わってくるいい授業だったと思いました。

最後に、本校の研究主任である石橋先生が会の始めに言ったことばを紹介して終わりたいと思います。「赤崎小学校の子どもたちのために先生方の知恵を借してください。よりよい授業作りについて検討していきましょう。」

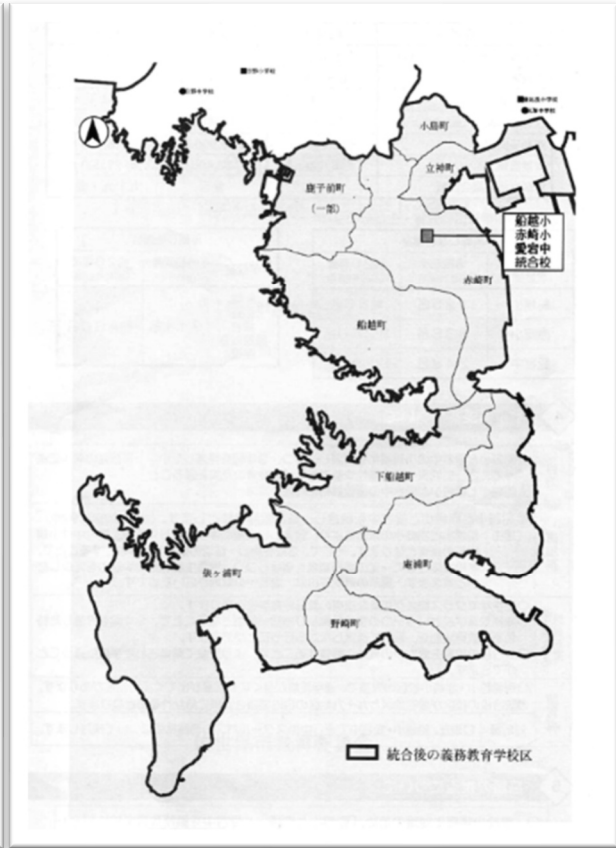


佐世保市学校再編基本方針

4 愛宕中学校区

(1) 愛宕中学校区 (現状)

(2) 統合した場合の校区 (市教委案)



5 優先的に検討を進める学校

老朽化対策の必要性が高い学校から優先的に検討を進めていきます。

学校再編にあたっては、「学校規模」「施設」「地域」の視点を総合的に判断していきませんが、特に児童の安全にかかわる校舎の建築年数など、「施設」の課題を重点的に加味して検討を進めていく優先度を設定しました。また、再編を検討する際、関連する複数の学校をグループとしてまとめました。

優先度	再編の検討を行う学校グループ	関連地区
短期 ↑ ↓ 長期	潮見小・白南風小・木風小・福石小・天神小 港小・山澄中・福石中・崎辺中	山澄地区 南地区 崎辺地区
	春日小・清水小・大久保小 清水中・大野中	清水地区 北地区 大野地区
	山手小・小佐世保小・祇園小	中部地区
	相浦小・高島分校	相浦地区
	相浦西小・大崎分校	相浦地区
	宇久小・宇久中	宇久地区
	船越小・赤崎小・愛宕中	愛宕地区 九十九地区
	宮小・宮中	宮地区
	金比良小・光海中	西地区
	三川内小・三川内中	三川内地区
	針尾小・江上小・東明中	針尾地区 江上地区
	柚木小・柚木中	柚木地区
	小佐々小・楠栖小・小佐々中	小佐々地区
	江迎小・猪調小・江迎中	江迎地区
	鹿町小・歌浦小・鹿町中	鹿町地区
	世知原小・世知原中	世知原地区
	吉井南小・吉井北小・吉井中	吉井地区

※ 優先度の設定については、佐世保市通学区域審議会答申（令和2年1月17日）を参考にしています。

* 予定より長くなってしまいましたが、次で最後となります。最後に行われた質疑応答についてお伝えします。